

2019 年度第 1 回検討委員会での主な意見及び対応について

主な意見	対応
アクションプランについて	
・アクションプラン設置要綱で、私たち検討委員のやるべきことについての確認をしたい。説明でアクションプランの策定、チェック・評価をしようと言っていたが、今後の検討についての意見は言えないのか。	・2021 年度に策定する予定の「(仮称) 町田市里山環境活用保全計画」につきましては、2020 年度第 1 回のアクションプラン検討委員会において、基本的な考え方を説明し、委員の皆さまのご意見を伺う予定です。また、計画の策定にあたりましては、アクションプラン検討委員会の委員の皆さまを中心に意見交換しながら進めてまいります。
・改定する際は、アクションプラン検討委員会のメンバーを主体にしてほしい。意見を参考に早期に見直してほしい。	・市の新たな基本計画である「(仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040」や「(仮称) 町田市都市づくりのマスタープラン」の策定にあわせて、町田市北部丘陵活性化計画の見直しを行い、2022 年度を計画初年度とする「(仮称) 町田市里山環境活用保全計画」を 2021 年度に策定する予定です。計画の策定にあたりましては、アクションプラン検討委員会の委員の皆さまを中心に意見交換しながら進めてまいります。
・小山田中部街づくり協議会では、アクションプランは白紙にしたほうがよいとの意見が出た。	・町田市北部丘陵活性化計画アクションプランは、2017 年度から 2020 年度までとなっています。 2021 年度には「(仮称) 町田市里山環境活用保全計画」を策定し、地域の賑わいを創出するソフト事業を推進事業として位置づけていく予定です。 「活用保全計画」を進めるうえで必要と考えられるハード事業に関しては、「(仮称) 町田市都市づくりのマスタープラン」等に反映させていきたいと考えております。

主な意見	対応
・全体の中で市有地を集約した方がよい。小山田全体の計画が必要。緑の保全は、道路や全体の計画の中で考えてほしい。	・市有地の集約や小山田全体の計画は、現在考えておりません。緑の保全や道路計画については、「(仮称) 町田市都市づくりのマスタープラン」等で検討いたします。
・緑を集約して区画整理してほしい。そのためには、アクションプランの方針の抜本的な改革が必要。	・町田市施行にて、土地区画整理事業を行なう予定はありません。
推進事業について	
推進事業② 里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築 ・里山環境調査・資料作成委託料の600万円について、データの閲覧はできるのか。	・データの閲覧は可能です。
推進事業④ 幹線道路等の計画・変更等 ・町田3・4・40号線についての項目もあげてほしい。	・町田市都市計画マスタープラン（地域別構想編）における、安全安心のまちづくり（防災・安全）の中で、多摩地域などとの広域連携を見すえた骨格的な道路網一つに位置付けられています。
推進事業④ 幹線道路等の計画・変更等 ・都市計画道路3・4・20号線も早期に事業決定してほしい。 ・モノレールの延伸は、この地域にとって起死回生の事業である。市にも延伸できるようお願いしたい。 ・モノレール延伸や道路整備が行われることで地域に価値が生まれる。	・都市計画道路3・4・20号線の道路整備にも関わる多摩都市モノレール町田方面延伸につきましては、2019年度に東京都がルート検討委員会を立上げ、客観的かつ合理的なルートを検討しているところです。 ・町田市では、ルート決定に向けて需要喚起につながるまちづくりの検討を進めております。
推進事業⑪ 生活道路の整備 ・花のある道より、救急車が入れない道路を何とかしてほしい。 ・市道忠生495号線と市道忠生496号線の生活道路の狹隘道路の拡幅も、計画に入れてほしい。 ・北部丘陵内で約束をしている路線をアクションプランにも記載すると、進んでいるように見える。	・市道忠生495号線、市道496号線においては、今年度、調査測量を行っており、次年度以降、実施に向けた検討を行う予定です。

主な意見	対応
<p>推進事業⑤ 北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込み率の標記の仕方も考えてほしい。 ・ 指標は参加者の満足度のほうがよいのでは。量より質の指標にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の指標は、計画の中でイベントの申込率としており、その指標の評価及び点検を行っています。そのため、今回の計画の指標の結果を踏まえ、今後の指標の設定は、頂いた意見を参考に「(仮称) 町田市里山環境活用保全計画」の策定時に改めて、検討いたします。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉では、先日台風の影響を受けた。何か予防策はあるのか。災害が起きた際も担当がいらない。市、都も動かない。土砂災害に関する傾斜地については、枠組みがないため国は動かない。将来的にどこが担当するのか検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害の対策といたしましては、防災課にて避難施設や土砂災害警戒区域等を掲載した土砂災害ハザードマップの作成、周知等を行い、市民の皆様が早期に避難できるよう警戒避難体制の整備に努めております。 なお、市所有の土地に対する個別の対策につきましては、それぞれ必要性等を判断しながら対策を講じているところです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 街づくりを農業部門で行うのはおかしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部・里山担当は農業分野での連携と市内全域の里山を担当することによる効率化を狙い、農業振興課に設置しております。北部丘陵の街づくりにつきましては、都市政策課、地区街づくり課とも連携しながら進めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専属のテーマがあるため、他の部署も巻き込んだほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「(仮称) 町田市里山環境活用保全計画」に位置付ける推進事業の実施にあたっては、関係部署と連携して進めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元が喜ぶようなことをやった方がいい。URから農地を取得したことも違法である。事業に関して発想の転換をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の街づくり協議会の皆さまをはじめ、地域の皆さまとともに、里山資源を活用とした事業について、意見交換を行いながら事業の進捗を図ってまいりたいと思います。

主な意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内にプロジェクトチームを作り意識的に動くことが必要。プロジェクトチームが現場に入り、NPO団体や活動者の生の声を聞きながら、地域を紹介して北部丘陵に興味をもってもらい、外からも応援団を増やしたほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020 年 9 月に庁内関係部署で、北部丘陵の現地確認を行い、活動する方や来訪者の声を聞くことができました。今年度内には、小山田・小野路にお住まいの方や地域への来訪者を対象に「里山環境の保全・活用に関する意識調査」を実施する予定です。調査の結果は、今後の計画策定の資料として活用する予定です。また、「(仮称) 町田市里山環境活用保全計画」では、まちだの里山に興味をもってもらえるような取り組みも検討していきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市は荒れている田畑を蘇るようにする仕事をしているが、他の仕事で小山田をよくしてほしい。 ・ 北部丘陵は町田市の回遊拠点で、人が遊びに来られるようにしていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021 年度に策定する「(仮称) 町田市里山環境活用保全計画」は、まちだの里山環境に多くの方が訪れ、にぎわいを創出し、里山環境の持続可能な保全につなげていきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の維持に関しても検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々にご意見をいただき、担当部署とも連携して対応してまいります。